

こまつの教育大綱



Learn Well, Live Well

いつだって、誰だって、新しい可能性を

令和 7 年 4 月

小 松 市

小松市教育委員会

目 次

I. はじめに

- 1. 教育大綱とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 関連計画等との整理・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3. 期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

II. 基本的な考え方

- 1. 小松市の目指す教育・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2. 大綱の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3. 教育理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 4. 教育目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 5. 教育方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

III. 政策

- 1. 政策立案にあたっての5つの視点・・・・・・・・ 4
- 2. 具体的なテーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

I. はじめに

1. 教育大綱とは

大綱は、平成27年4月1日改正施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地方教育行政法）」第1条の3に基づき、地方公共団体の長が、長と教育委員会で構成する総合教育会議で協議し、地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものであり、「教育基本法」第17条第2項に基づく、本市の「教育振興基本計画」としても位置づけられています。

2. 関連計画等との整理

国及び石川県等において策定済の教育振興基本計画や本市で定めるまちづくりの基本構想に係る計画を踏まえ策定します。

3. 期間

期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間とします。

Ⅱ. 基本的な考え方

1. 小松市の目指す教育

近年、社会経済活動の拡大やデジタル化の進展により、世界のボーダーレス化が進み、その一方で、国内では人口減少や少子高齢化などの諸課題をはじめ、都市部と地方の格差も顕在化しています。このような状況の中で、次代を担うこどもたちはもとより、社会を構成する全ての人々の日々のちょっとした成長が、これらの社会課題の解決につながる可能性を有しており、その根幹となるのが教育です。

本市には、こども園や市立高校、公立大学など充実した教育機関が立地し、幼児教育から高等教育までの切れ目のない一貫した教育環境が整っており、また、地域には古き良き伝統文化や豊かな自然が残っています。さらには、国際空港や新幹線駅など、交流を促進する都市機能も整備されています。

こまつが持つこれらの多様なフィールドを活かしながら、学びの力によって、いつだって、誰だって、新しい可能性を見つけ、それぞれの人生を豊かにし、ひいては、それが社会の発展につながるような教育を目指していきます。

2. 大綱の構成

大綱は、「教育理念」「教育目標」「教育方針」によって構成され、それらを実現するための具体的な政策については、教育委員会等において別途定めます。

3. 教育理念

Learn Well, Live Well

いつだって、誰だって、新しい可能性を

良い学び（教育）が、良い暮らし（人生）につながる。
誰でも学びたいときに学べる環境がある。
「学ぶ意欲に応えたい。」それがこまつの教育理念。

4. 教育目標

あらゆる世代の成長が社会の持続的な発展に

教育は社会発展の根幹。
学校教育や生涯学習だけでなく、日々のちょっとした
学びなど、全ての学びを社会の持続的な発展につなげ
ていく。

5. 教育方針

誰もが輝ける「学びのBest Balance」

一人ひとりに合わせて進める「個別最適な学び」と
互いに学び合う「協働的な学び」との融合など、様々
な要素をバランスよく組み合わせた教育で資質・能力
を伸ばす。

Ⅲ. 政 策

1. 政策立案にあたっての5つの視点

小松市の目指す教育の実現のため、次の5つの視点を踏まえ、教育政策を展開していきます。

視 点

1 こまつで遊び・学び・育む

視 点

2 伸ばしこぼれなく、個々の持つ可能性・能力を引き出す

視 点

3 時代に即した持続可能な学校教育環境を整備

視 点

4 幼児教育から大学教育までの一貫教育で学びをアップグレード

視 点

5 新たな学び・新たなスキルでウェルビーイングを向上

2. 具体的なテーマ

【幼児期・小中学校】

体 験	こまつの特長である伝統文化や自然に触れ、本物を体験し、特に幼児期においては多様な遊びを通した学びを実践する
連 続 性	幼児期から児童期にかけ、関係機関の連携を通じて、学びの芽生えと自覚的学びの調和が取れた教育を展開する
国 語 力	学びの基礎となる「聞く」「話す」「読む」「書く」の国語教育を重視する
郷 土 愛	生まれた地域、ふるさとの魅力を学び、知ることで、郷土愛を育む
可 能 性	これまでの底上げ教育だけではなく、引上げ教育・キャリア教育を実践することで、こどもたちの多様な可能性を後押しする
協 働	様々な属性や個性、背景を有する者との協働的な学びを実践する
主 体 性	成功体験を通して、こどもたちの意欲・やる気を向上させることで主体性を育む
国 際 性	異文化や異なる文化を持つ人と触れ合うことで、新しい世界への扉を開く
デジタル	急速に進展するデジタル社会に対応できる情報リテラシーの獲得を目指す

【高校・大学・社会人】

人材育成	地域を深く知り、世界でも活躍できる人材の育成を目指す
研 究	専門的な研究活動や産学連携により、さらなる高等教育の高度化を図る
外 国 語 留 学	外国語教育の充実により、活躍の場・可能性を引き出す。地域を限定することなく活躍する多様な力を育成するため、海外留学及び外国人留学生受入れを推進する
キャリア	一人ひとりの目指す多様なキャリアに応えられる教育を実践する
学び直し	リスキングやリカレントなど、広く大人が学び直すことのできる場を提供する

【教育体制】

連 携	幼稚園やこども園と小学校との連携を強化し、幼小接続が円滑に行われる体制を構築する
個 性	一人ひとりの個性を認め、自己実現が可能となる指導を実践する
専 門 性	資質の向上や専門性を高めるため、教師自身の主体的な学びを促進する
デジタル	教育DXの推進により、こどもたちに最適な学びを提供するとともに、校務の負担軽減など業務効率化にも取り組む

【教育環境】

最適化

あるべき教育像の実現のため、社会変化に対応した学校配置を検討する

共生

多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の共生社会の実現に向けた教育を推進する

サポート

地域における教育に係る諸活動に対して支援する

【市民生活】

活性化

文化・歴史・スポーツなど、生涯学習活動やスポーツ活動を支援し活性化につなげる

生涯学習

生涯にわたる余暇活動等における教えや学びの活動環境を整える

全世代

食や健康、趣味活動など、市民間の交流や健康ライフに資する活動の展開を支援する

ロゴマークについて



「Learn Well, Live Well」に共通する L と W を組み合わせて、自由と可能性を象徴する鳥をコンセプトにしたマーク。

個人の可能性が広がり、学びを通じて新たな視野が開け、自己実現が可能になることをイメージ。また、学びが人生に無限の選択肢を与えることを、羽の色を変えることで表現している。

第3期小松市教育大綱（2025-2029）



923-8650 石川県小松市小馬出町91番地

小松市総合政策部総合政策課

TEL 0761-24-8037

Mail kikaku@city.komatsu.lg.jp

小松市教育委員会事務局（教育庶務課）

TEL 0761-24-8120

Mail syomuka@city.komatsu.lg.jp